

みんなが書きこんだことを合わせたら、こんなことが見えてきた！

3

しよんぼり

負けずぎらいの

うそで

強がりを書いてしまった。

⑥月が行ってしまつと、チエロは、しよんぼりとして言いました。

声がふるえている。

うそだった。

「わたしは、うそを言っていました。こわれているの。こわれていないなんて。」

怒って

半分しかげんがないから、いっしょうけんめいに話している。

⑦すると、すぐ横のハープが、半分しかないげんをふるわせて言いました。

昔、こわれていないときは、えんそううしていた。かなしい。

夢をみているの？

「自分がこわれた楽器だなんて、だれが思いたいものですか。わたしだって、夢の中

夢の中だけ。

では、いつもすてきなえんそうをしてるわ。」

できると思う。

「ああ、もう一度えんそうがしたいなあ。」

おくに置かれていた

⑧ホルンが、すみの方から言いました。

「えんそうがしたい。」

みんなでもう一度えんそうしたい。

⑨トランペットも横から言いました。

やりたいけど

みんなこわれているから。

「でも、できないなあ。こんなにこわれてしまつていて、できるはずがないよ。」

⑩やぶれたたいこが言いました。

前はえんそうしていたからでるさ。

こわれていても、協力したら、

楽器を一つにはなく、音楽を一つにする。

「いや、できるかもしれない。いやいや、きつとできる。たとえば、こわれた十の楽器で、一つの楽器になろう。十がだめなら十五で、十五がだめなら二十で、一つの楽器になるんだ。」

毎日練習すれば。

出ない音があつたら、みんなで出す。

⑪ピオラが言いました。

「それは名案だわ。」

いい考えだ。

⑫ピッコロが言いました。

「それならばくにもできるかもしれない。」

もつきんだけ？

わくわく。

⑬もつきんがはずんだ声で言いました。

「やろう。」

みんなが、やりたい。

「やろう。」

楽器全部

楽器たちは、たおれていたの？

⑭バイオリンやコントラバス、オーボエ、フルートなども、立ち上がって言いました。

こわれてねころんでいた楽器も起き上がった。

みんなのやる気。気合！

3 場面で、楽器たちの気持ちはどのように変わっていますか。